

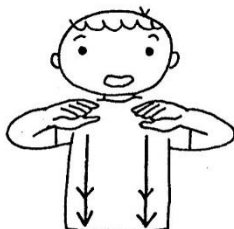
～ 園の歌を手話で歌おう ～

1. おやまに



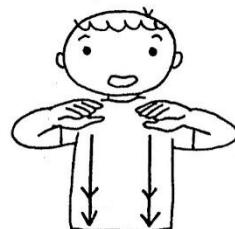
右手のひらを下に向け、左側から右側へ大きく山を描く。

2. あめが
ふりました



両手のひらを下に向け、肩の前でリズムにあわせて上下に振る。

3. あとからあとから
ふってきて



2.と同じ

4. ちょろちょろおが
わができました



右手のひらを上に向け、左肩あたりから斜め右下へゆらゆらさせながらおろしていく。

5. いたずら



両手をげんこつにし、両脇で2回上下に振る。

6. くまのこ



右手の親指と人さし指の先をくっつけて首の左側から右側へ移動させ、指先を離して三日月を描きながら右側で再び指先をくっつける。

7. かけてきて



両手をげんこつにして、両脇でそれぞれ前後に振る(走る表現)。

8. そっと のぞいてみました



右手の人さし指を立てて口に当ててから、両手を筒にして目にあてる。

9. さかなが いるかと



右手の親指と人さし指の先をくっつけて首の左側から右側へ移動させ、指先を離して三日月を描きながら右側で再び指先をくっつける。

10. みてました



両手を筒にして目にあてる。

11. なんにも いないと



両手のひらを下に向け、首の前から円を描きながら腹の前で手のひらを上に向ける。次に、左手のひらを下に向け、右手親指を上にあげてほかの指を左右に振る。

12. くまのこは



6.と同じ

13. おみずを ひと
くちのみました



右手のひらをクルッと後ろへ半回転する。

14. おてでで すく
ってのみました



両手で水をすくって飲む表現をする。

15. それでも



右手のひらを外に向け、クルッと手首を回転させて手のひらを自分に向ける。

16. どこかに いるようで



右手を湾曲にして前に出してから、人さし指を上立てて小さく左右に振る。

17. もいちど
のぞいて



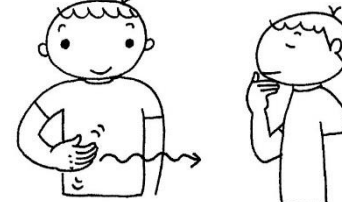
右手人さし指と中指を上立て(手のひらを外に向けて)クルッと手首を回転させる。

18. みてました



10.と同じ

19. さかなを まちまち



右手のひらを自分に向け、右側から左側へユラユラ手首を振りながら移動させてから、指の甲側をあごにあてる。

20. みてました



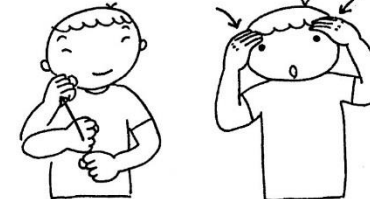
10.と同じ

21. なかなかやまな
い あめでした



2.と同じ

22. かさでも かぶって



両手をげんこつにして積み重ね、上になったげんこつを上にあげてから、両手を頭にのせる。

23. いましようと



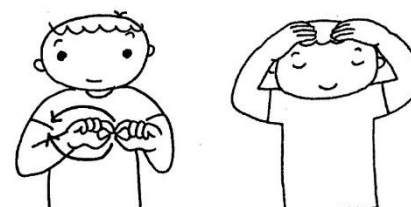
右手親指と人さし指を広げて、あごの下から小さく斜め前に出すと同時に指先をくっつける。

24. あたまに



右手人さし指を頭にあてる。

25. はっぱを のせました



両手の親指と人さし指の先をつけ合わせ、右手親指と人さし指を開いて円を描き、指先をくっつけてから両手を頭にのせる。

ワンポイント



13.『のみました』は、本来の手話表現は上記の方法だが、子どもが表現する場合は13の表現のほうがかわいい。

手話でうたおう子どもの歌
「音楽之友社」より引用

6月の歌は「あめふりくまのこ」です。
1961年(昭和36年)に作詞され、1962年(昭和37年)にNHKの『おかあさんといっしょ』の前身番組である『うたのえほん』で放送されました。

雨が降って小川のような川筋が出来、そこに現れた小熊が魚を探して覗き込む光景を歌った曲です。
この曲は小学校国語教科書に掲載され、2007年(平成19年)には文化庁と日本PTA協議会が選定した日本の歌百選にも選ばれています。